

第2課題： 武蔵野美術学園プロジェクト ---教育施設の新しい可能性を提案する---

武蔵野美術大学の前身である帝国美術学校の発祥の地に建つ、吉祥寺の武蔵野美術学園の再開発プロジェクトが、第2課題です。武蔵野美術学園は、18歳から77歳までの幅広い年代が、美術、デザインを学ぶアートスクールです。現状の武蔵野美術学園の機能を拡充し、新たに武蔵野美術大学と連携した機能を提案して計画、設計することを条件とします。生涯学習における美術教育を担う武蔵野美術学園が、美術の情報発信の場として吉祥寺の街との関係性を考えた、単なる学校施設ではない新しい可能性を提案して下さい。

■ 設計条件

- 1 敷地条件 所在地：東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7（吉祥寺駅徒歩15分）
敷地面積：3.550㎡（敷地見学、周辺調査時に近隣に迷惑をかけること。）
用途地域：第1種中高層住居地域（建蔽率：60%、容積率：200%）
前面道路：西側4.8m、東側4.0m
高さ制限：道路斜線、北側斜線、隣地斜線、第2種高度地区（建築基準法による）
地区計画：最高高さ15m
- 2 計画条件 延床面積：5.000~6.000㎡ 程度（建築基準法の建蔽率、容積率の範囲内）
武蔵野美術学園：現状の学園機能をリサーチし、拡充すること。
提案部分：新たに武蔵野美術大学と連携した機能を提案して計画、設計すること
既存の武蔵野美術学園の施設を利用したリノベーションも可能。
- 3 テーマ設定 再開発プロジェクトにおける、自らのテーマを設定し、それに基づいて計画、設計すること。
提案説明：設定したテーマに対する新しい可能性を提案説明としてまとめること。
タイトル：設定したテーマに沿った設計内容にふさわしいタイトルをつけること。
- 4 評価基準 ① 提案内容が、建築の設計になっているか。
② 設計内容が、新しさ・批評性を持ちうる提案になっているか。
③ エスキースチェック、中間発表、最終成果品が、3年後期課題としての量と質があるか。
④ 中間発表、最終講評会におけるプレゼンテーション評価。
⑤ 以上の基準による評点と出席による総合評価。

■ 提出物

- ① 計画概要（提案説明を含めた計画概要）
 - ② 仕上表（外部仕上、内部仕上）
 - ③ 配置図（1/100~1/300）
 - ④ 平面図（1/100~1/200）：各階
 - ⑤ 立面図（1/100~1/200）：2面以上
 - ⑥ 断面図（1/100~1/200）：2面以上
 - ⑦ 外観、内観パース（模型写真可）
 - ⑧ 模型（1/100）：敷地周辺を含む
- 以上をA1サイズ（3枚以上）にパネル化して提出